



2022年第2四半期 決算説明資料

2022年5月11日

SPRIX 株式会社 スプリックス

(東証プライム 7030)

MISSION

「教育」を通して、世界中の人に
「人生の新たなステージ(春)」を届ける。

VISION

「教育」でNo.1へ。

1

2022年第2四半期 決算説明



「拡大期に向けての第一歩」

感染第6波の中、季節的に低調な四半期でも

安定した業績を達成

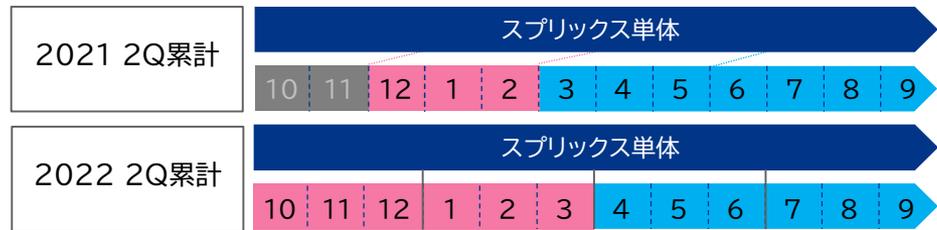
連結の影響－前期との比較

[(株)湘南ゼミナールの連結範囲]

会計年度	連結期間	1Q	2Q	3Q	4Q								
前期 (2021年9月期)	通期10か月 連結寄与	スプリックス単体											
		10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
		(株)湘南ゼミナール(10か月分)											
今期 (2022年9月期)	通期12か月 連結寄与	スプリックス単体											
		10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
		(株)湘南ゼミナール(12か月分)											

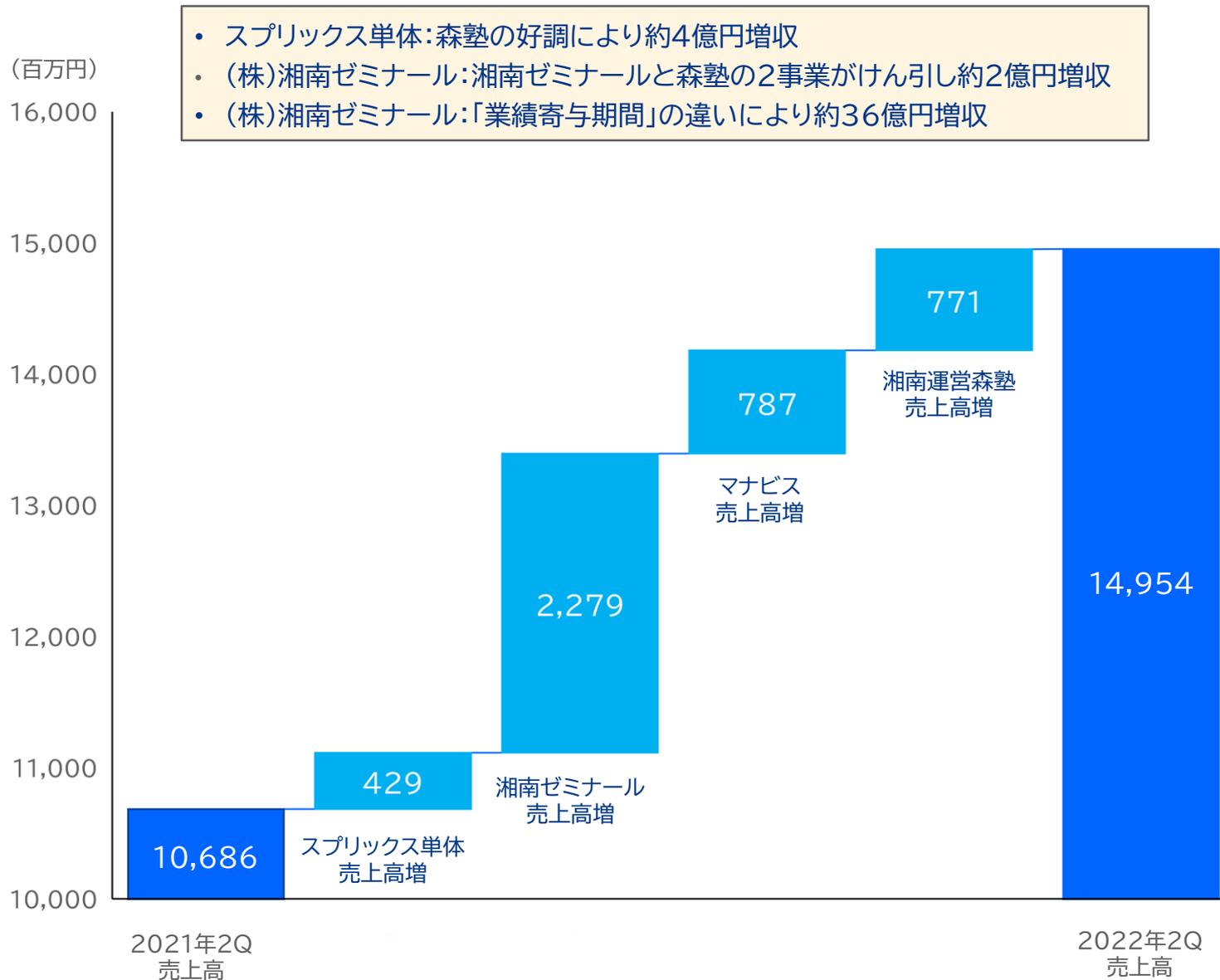
(注)特に断りのない限り、本資料で(株)湘南ゼミナールは、スプリックスの子会社である株式会社湘南ゼミナールを指します。

2022年2Q累計(2021年10月—2022年3月)—決算概要

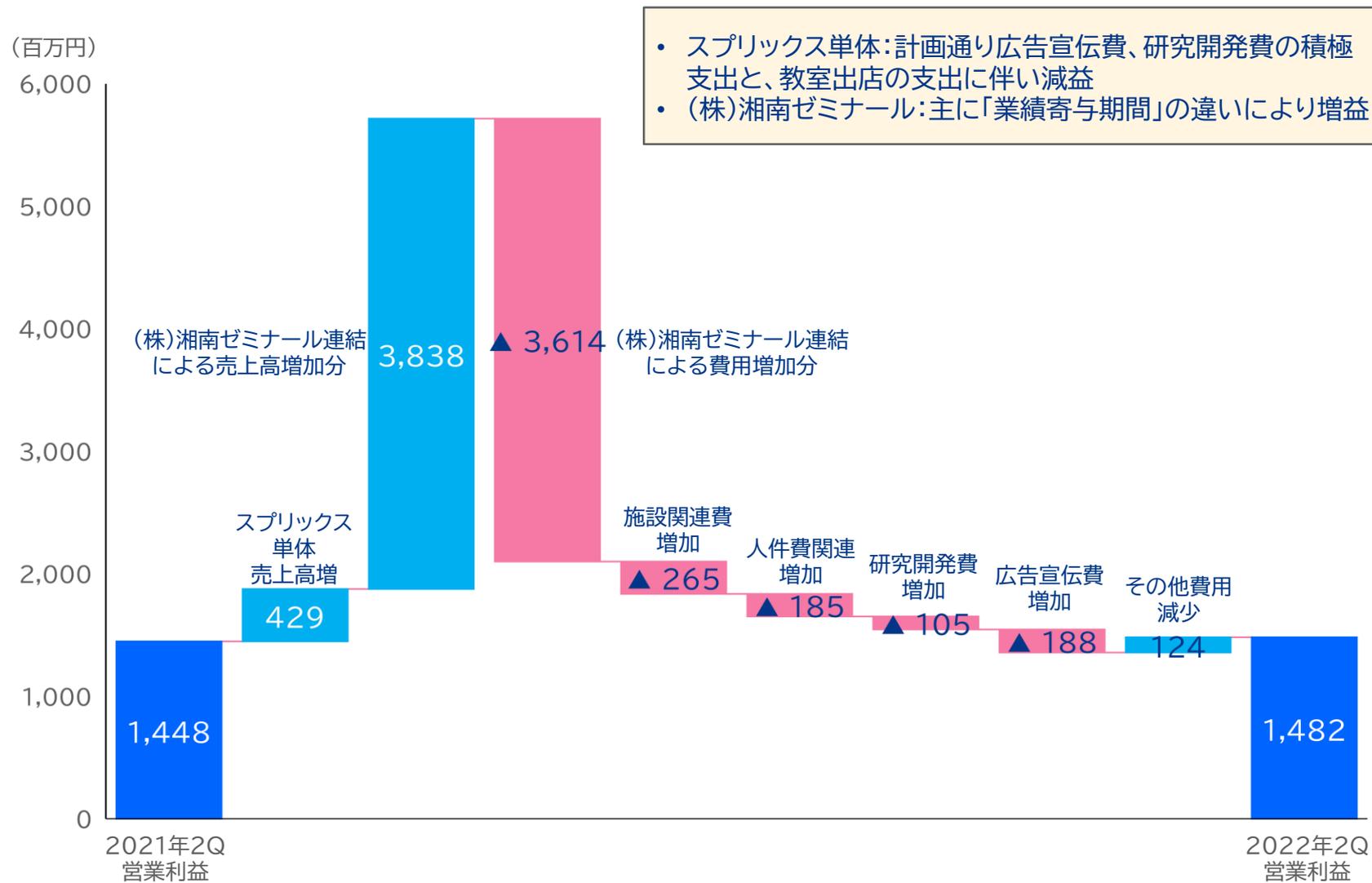


(単位:百万円)	2021年 2Q累計 (実績)	2022年 2Q累計 (実績)	増減金額 (増減率、%)	要因
売上高	10,686	14,954	4,268 (+39.9%)	売上高 <ul style="list-style-type: none"> スプリックス単体は、森塾の好調により約4億円の増収 (株)湘南ゼミナールは、運営する湘南ゼミナールと森塾の2事業がけん引し約2億円の増収 (株)湘南ゼミナールは、2021年2Qの連結対象期間が12-2月の3か月のみだったが、2022年2Qのそれは10-3月の6か月となり、10、11、3月の3か月分が増加するという「業績寄与期間」の違いにより約36億円の増収 営業利益 <ul style="list-style-type: none"> スプリックス単体は、計画通り広告宣伝費、研究開発費の積極支出と、教室出店の支出に伴い約2億円の減益 (株)湘南ゼミナールは、主に「業績寄与期間」の違いにより2億円強の増益
営業利益 (利益率、%)	1,448 (13.6%)	1,482 (9.9%)	34 (+2.3%)	
EBITDA (利益率、%)	1,752 (16.4%)	2,042 (13.7%)	+290 (+16.5%)	
親会社に帰属する 純利益 (利益率、%)	927 (8.7%)	922 (6.2%)	△5 (△0.6%)	

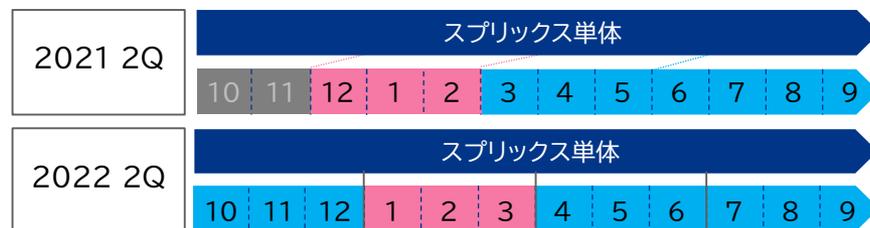
2022年2Q累計一売上高の分析(前年同期との差異)



2022年2Q累計一営業利益の差異分析(前年同期比)



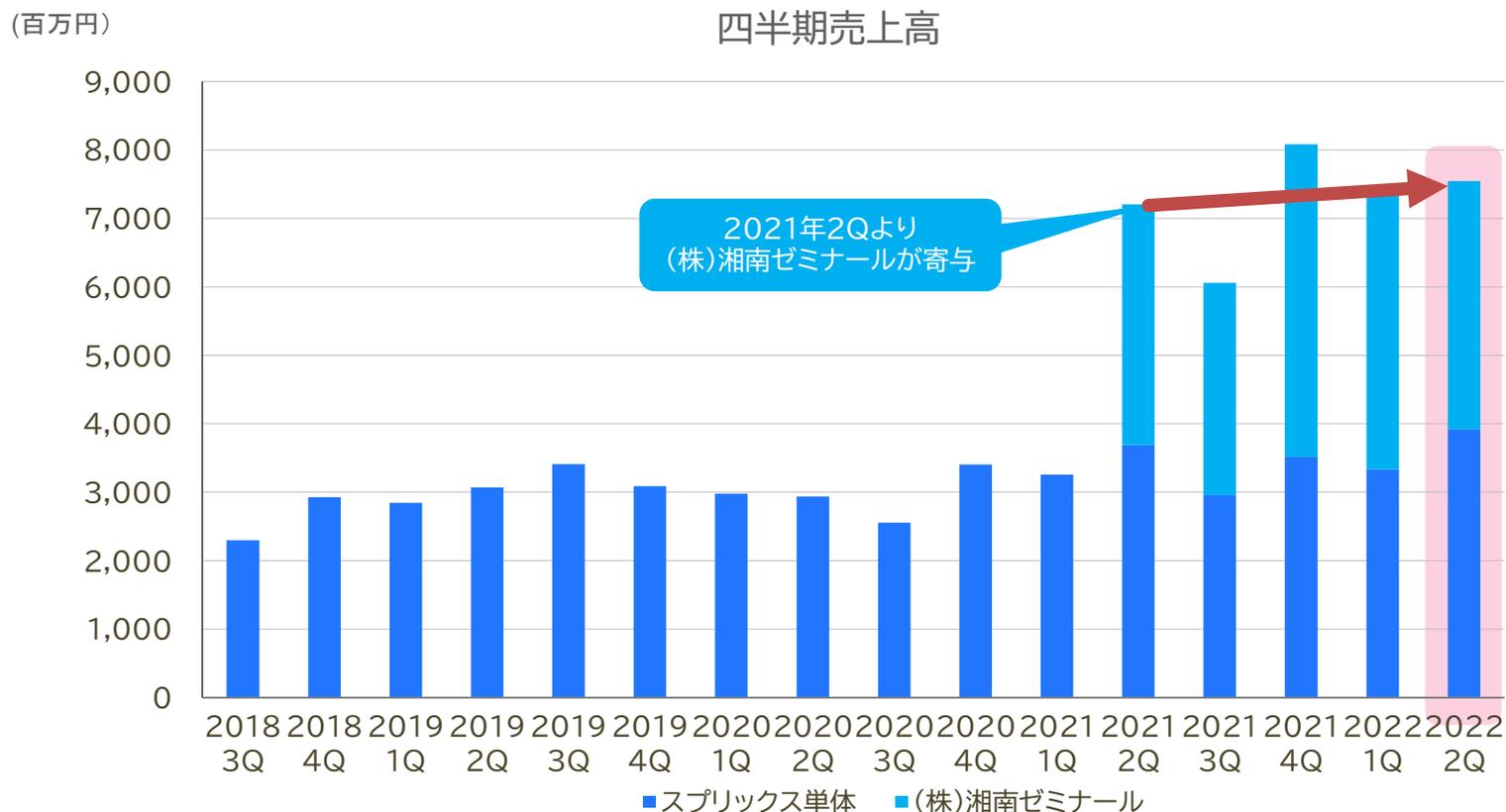
2022年2Q(2022年1-3月)一決算概要



(単位:百万円)	2021年2Q (実績)	2022年2Q (実績)	増減金額 (増減率、%)	要因
売上高	7,453	7,417	△36 (△0.5%)	<ul style="list-style-type: none"> 塾業界は、1Q(10-12月)の繁忙期に比べ、2Q(1-3月)は閑散期 2022年2Qは、営業エリアの大半がまん延防止措置発令地域
営業利益 (利益率、%)	705 (9.5%)	213 (2.9%)	△492 (△69.8%)	<p>売上高</p> <ul style="list-style-type: none"> スプリックス単体は、前期のコンテンツ特需が剥落するも、森塾が好調により2億円の増収 (株)湘南ゼミナールは、2021年2Qに好調な12月が含まれ低調な3月が含まれない「業績寄与月」の違いが発生しており、2億円の減収
EBITDA (利益率、%)	978 (13.1%)	495 (6.7%)	△483 (△49.4%)	<p>営業利益</p> <ul style="list-style-type: none"> スプリックス単体は、計画通り広告宣伝費、研究開発費を積極的に支出し、約1.5億円の減益 (株)湘南ゼミナールは、運営する森塾で仕入費用の前倒し支出等により約1億円の減益 (株)湘南ゼミナールは、「業績寄与月」の違いにより、2.5億円の減益
親会社に帰属する 純利益 (利益率、%)	424 (5.7%)	111 (1.5%)	△313 (△73.8%)	

2022年2Q一売上高の分析(四半期ごとの推移)

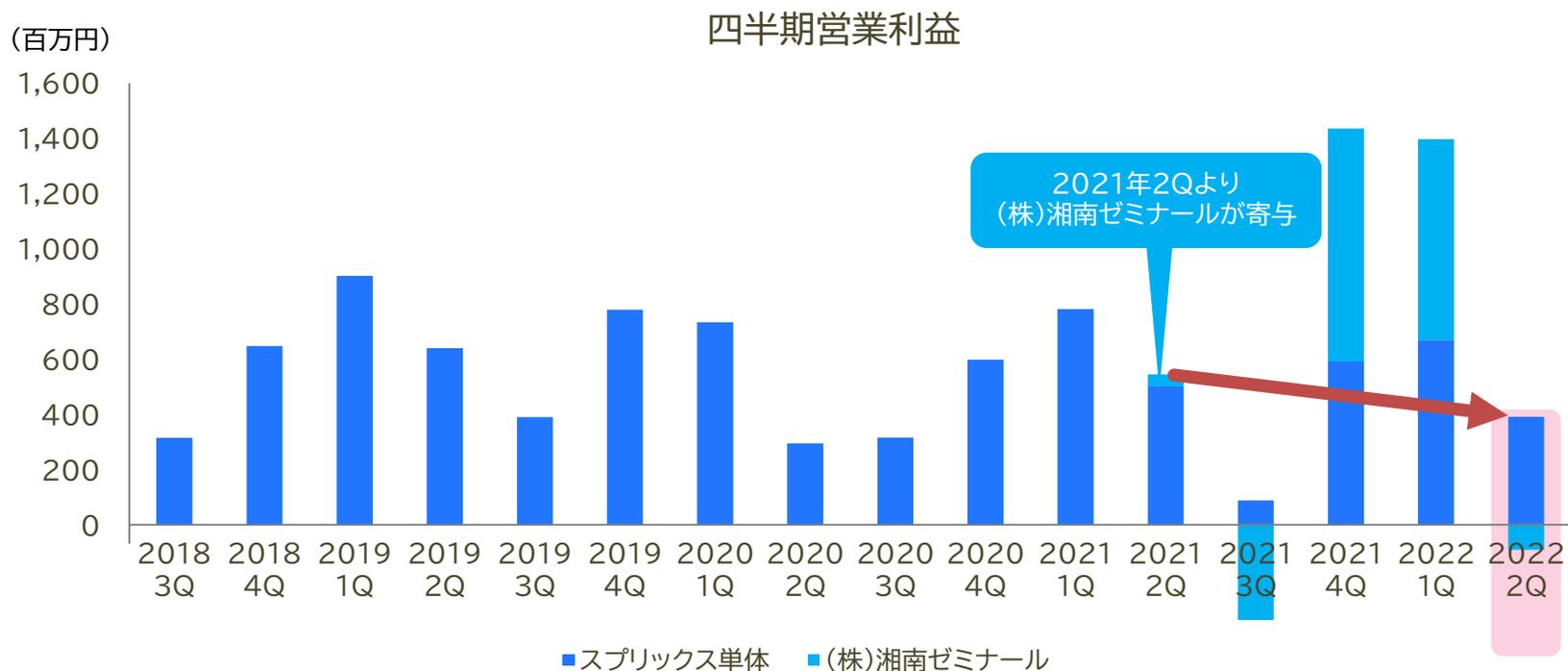
- 連結ベースでは、塾事業が業績に寄与し前年同期比でやや増収
- スプリックス単体は、昨年特需で好調だったコンテンツ売上が今期は減少するも、森塾の好調で増収
- (株)湘南ゼミナールは、湘南ゼミナールと森塾の2事業がけん引し前年同期比でやや増収



(注) スプリックス単体と(株)湘南ゼミナールの営業成績を表す連結相殺前の数値であるため、合計値は連結売上高とは異なります。

2022年2Q一営業利益の分析(四半期ごとの推移)

- 営業地域の大半でまん延防止措置が発令される中、連結ベースで黒字を確保
- スプリックス単体では、計画通り広告宣伝と研究開発に積極的に支出し、新規出店に伴う設備関連費も増加
- (株)湘南ゼミナールは、閑散期の中で計画通り若干の赤字



(注) スプリックス単体と(株)湘南ゼミナールの営業成績を表す連結相殺前の数値であるため、合計値は連結営業利益とは異なります。

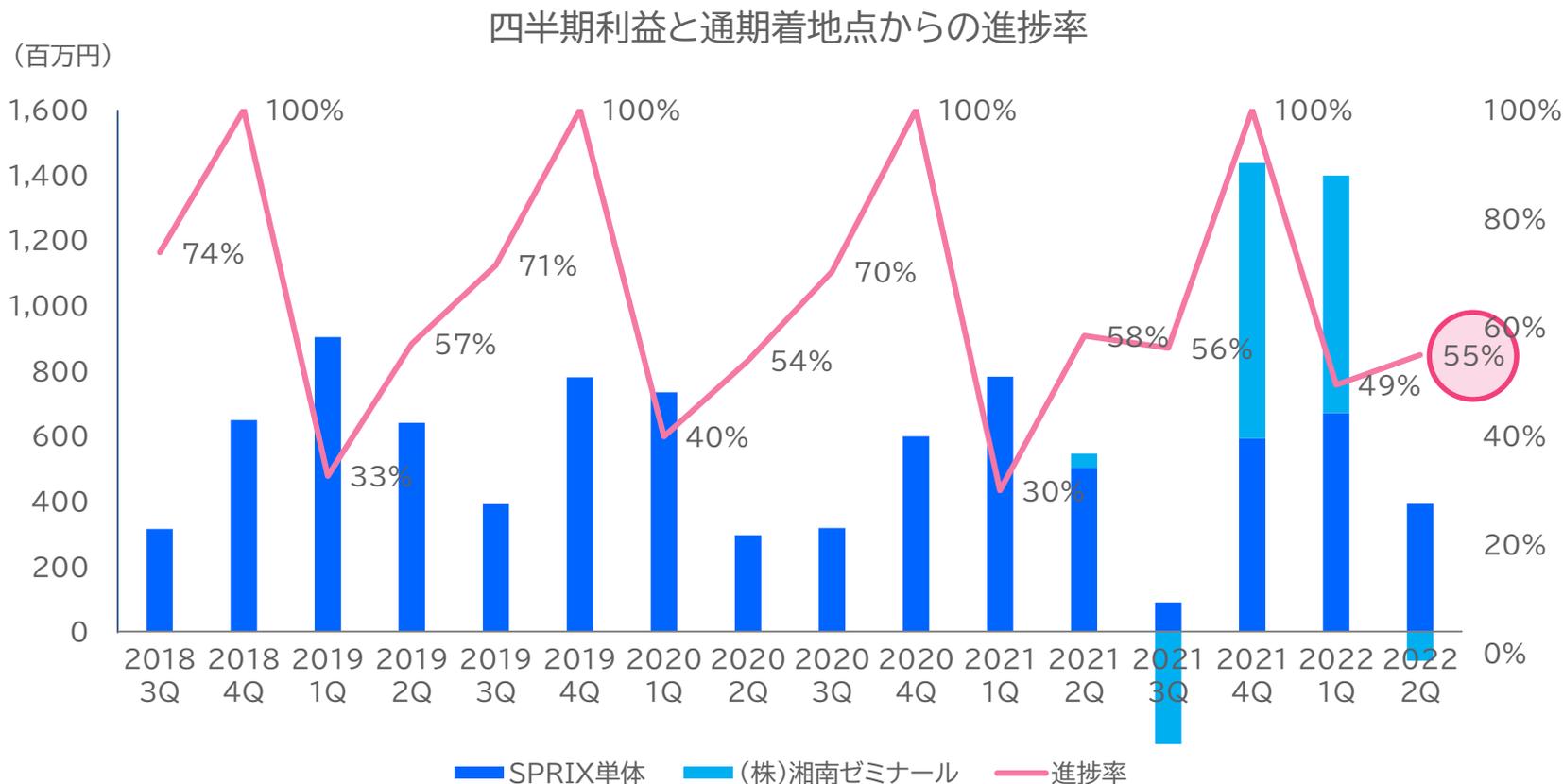
2022年2Q一期初予想に対する進捗状況

- 売上高、営業利益ともに順調に進捗
- スプリックス単体では、広告宣伝費と研究開発費を計画通りに積極的に支出
- 期初予想は据え置き

(単位:百万円)	2022年9月期 (予想)	2022年2Q (累計実績)	進捗率 (%)
売上高	29,546	14,954	50.6%
営業利益 (利益率、%)	2,699 (9.1%)	1,482 (9.9%)	54.9%
EBITDA (利益率、%)	3,917 (13.3%)	2,042 (13.7%)	52.1%
親会社に帰属する 純利益 (利益率、%)	1,755 (5.9%)	922 (6.2%)	52.5%

2022年2Q一営業利益(進捗率の季節性)

- 連結の進捗率は計画通り(2022年1Q 49%→2022年2Q 55%)
- スプリックス単体の2Q進捗率は、例年50%台で推移
- (株)湘南ゼミナールは、1Qと4Q(7-12月)で営業利益の大半を稼ぎ、2Qと3Q(1-6月)で落ち込む傾向
- 塾事業は一般的に2Qと3Q(1-6月)が閑散期



(注) スプリックス単体と(株)湘南ゼミナールの営業成績を表す連結相殺前の数値であるため、合計値は連結営業利益とは異なります。

2022年2Q累計一セグメント別業績

- スプリックス・グループの塾事業は堅調
- 個別・集団・映像／小・中・高に事業領域を拡大中

(単位:百万円)	売上高	営業利益	要因・トピックス
	7,436	1,809	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍に於いても引き続き業績は堅調 ・ 湘南ゼミナール運営の森塾もシナジー効果で売上・営業利益ともに拡大
	4,734	764	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍に於いても引き続き業績は堅調 ・ グループ化によるオペレーションの効率化で販売管理費を抑制
	1,384	35	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒数堅調も、平均コマ数に課題 ・ 募集強化として岡山校開校プロモーション等実施
その他   	1,480	△52	<ul style="list-style-type: none"> ・ そら塾や自立学習RED等セグメントに分類されない学習塾事業、コンテンツ、東京ダンスヴィレッジ等の教育関連サービス及び新規事業に掛かる研究開発費等で構成 ・ 新規事業にかかる積極的な研究開発、広告宣伝等の投資を実施

(注) 2022年9月期より上記セグメントに分けて業績を開示

2022年9月期一セグメント別トピックス

2022年9月期(通期見込み)

	<ul style="list-style-type: none"> 2022年3月末で、関東圏に9教室開校 New! 2022年9月末までに、さらに6教室程度新設予定 	
	<ul style="list-style-type: none"> 2022年2月に、3教室開校 New! 新たに立ち上げた「横浜翠嵐Vコース」注力と、湘南ゼミナール小中部の強化 	
河合塾マナビス	<ul style="list-style-type: none"> 2022年2月に、岡山に新規開校 New! 	
その他		<ul style="list-style-type: none"> 2022年1月「オンライン専門個別指導塾 生徒数No.1」を獲得 ※1 New!
		<ul style="list-style-type: none"> 2022年3月末で、16教室開校 New! 2022年9月末までに、さらに28教室開校予定(期末教室数208教室)
		<ul style="list-style-type: none"> フォレストプラス(タブレット用教材)を発売
	その他	<ul style="list-style-type: none"> CBT for schoolをリリース 書籍「成し遂げる力」出版、ビジネス書ランキングNo.1 ※2 New!

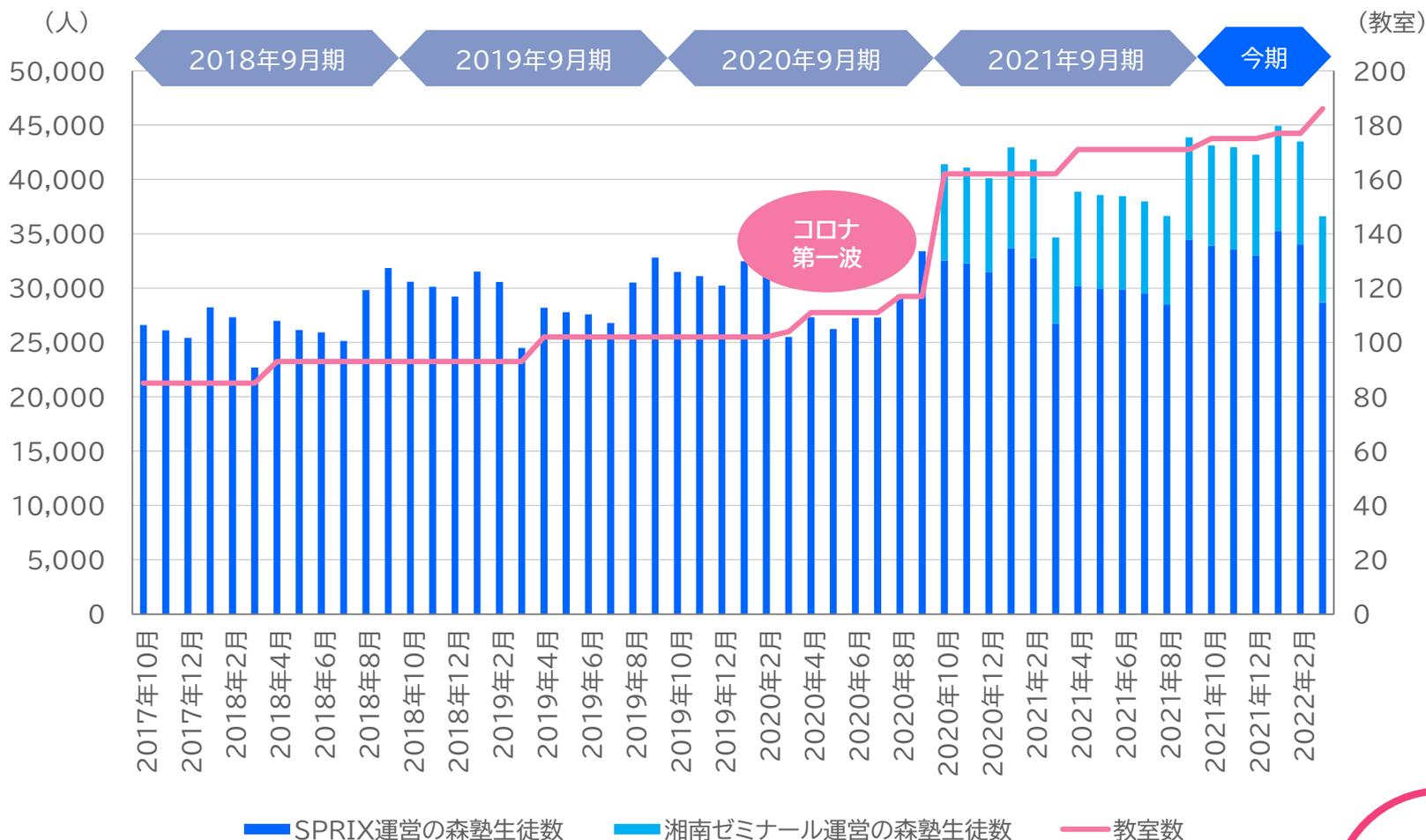
※1 株式会社日本マーケティングリサーチ機構調べ

※2 都内複数書店の2月から3月における特定の1週間の売上ランキング

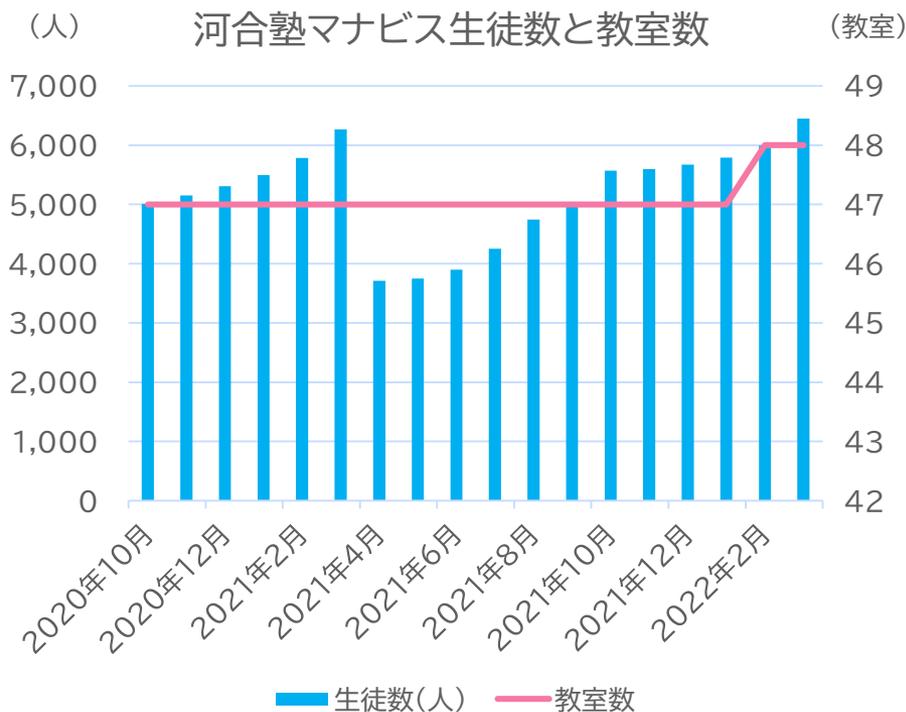
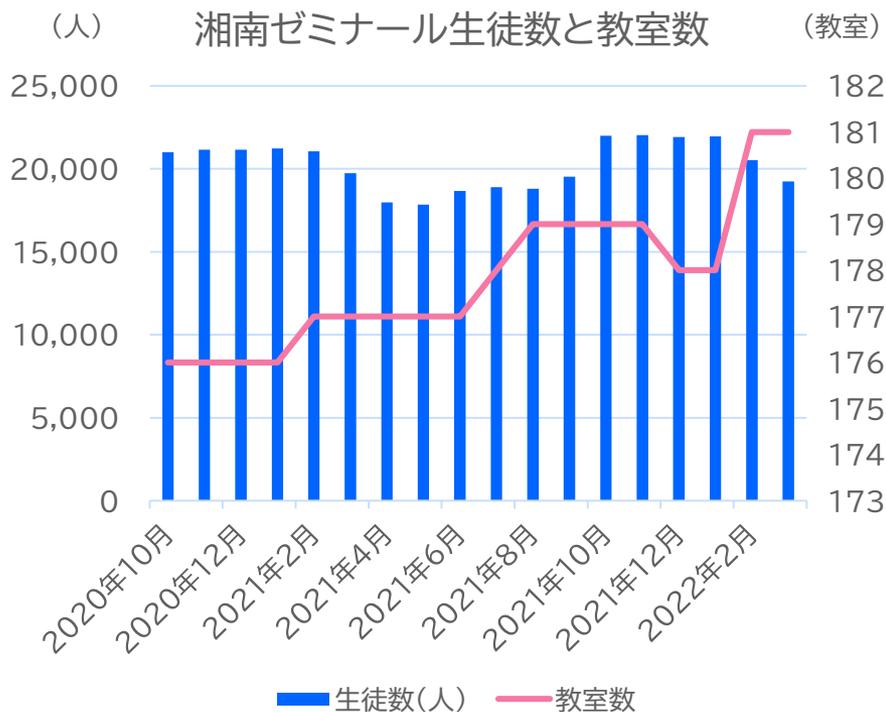
(参考)森塾の合計生徒数と教室数

- 営業エリアの大半でまん延防止措置が発令され、新規入塾者は低調も、退塾者も増加せず堅調に推移
- 拡大期のため教室当たり生徒数はやや減少傾向

森塾生徒数と教室数



(参考)湘南ゼミナールと河合塾マナビスの生徒数と教室数



投資家の皆様からよくある質問

Q1. 2025年9月期に森塾生徒数60,000人を達成できるのか？

Q2. 研究開発費と広告宣伝費が成長戦略に及ぼす影響は？

Q3. 高校生の市場への具体的な足がかりは？

Q1. 2025年9月期に森塾生徒数60,000人を達成できるのか？

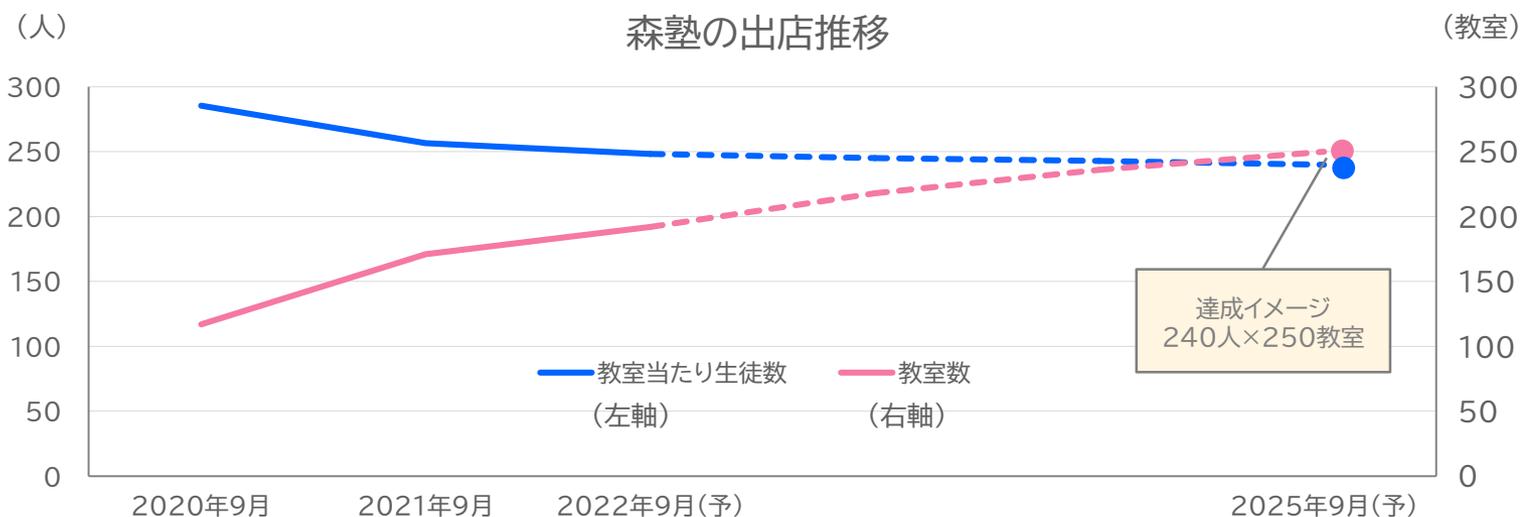
A1. 積極的な出店計画により森塾生徒数60,000人達成を目指します

教室数

- 年間20教室の出店ペースを維持し、2025年9月期末には250教室超の見込み
- 地域に依存しないSPRIXメソッドで、関西圏等の新たな地域にも進出予定
- 教室長となる正社員の採用と確保が課題

教室当たり生徒数

- 都心部への拡大とともに若干減少傾向も、コロナ禍でも240人弱を維持
- コロナ禍の収束や森塾の高校部強化により増転を目指す

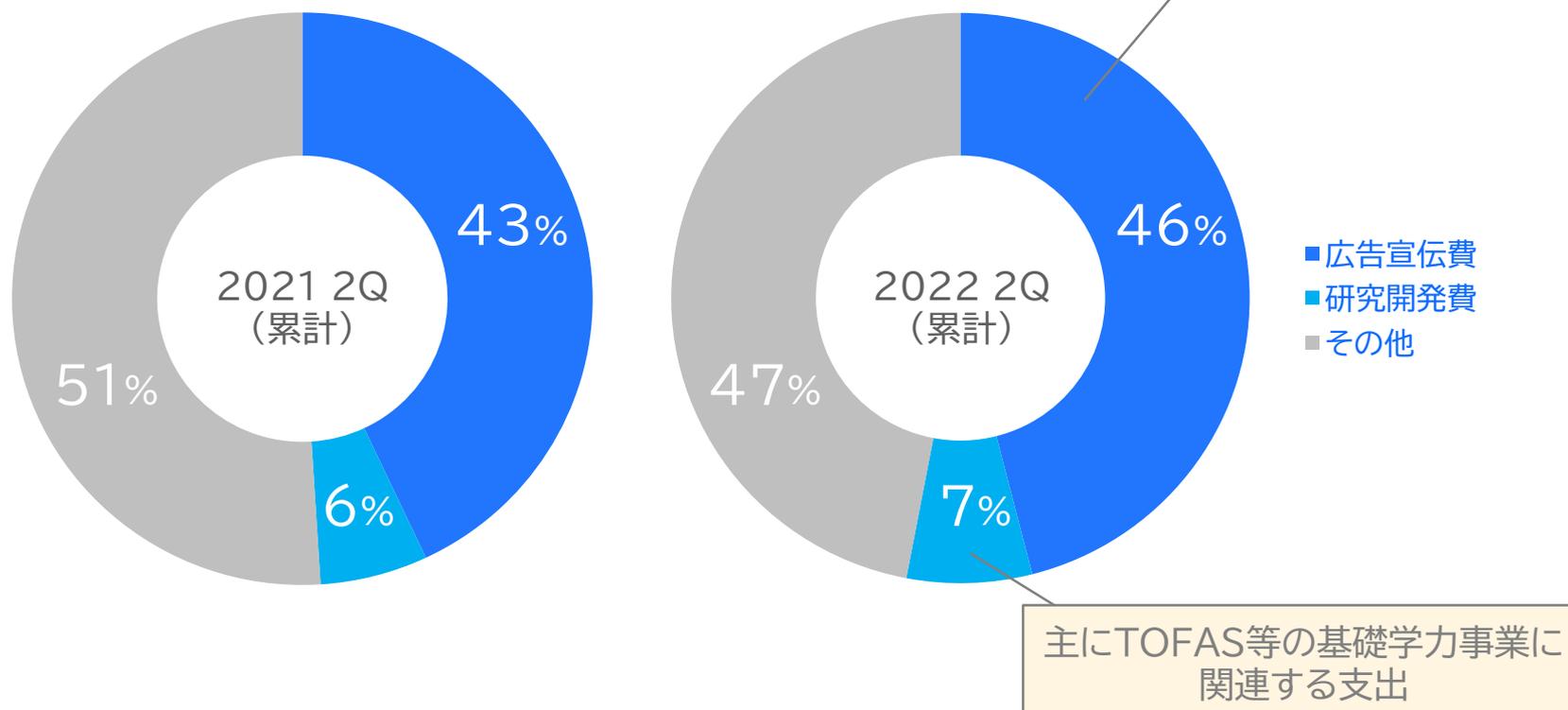


(注)2021年9月以降の教室数はスプリックス運営と湘南ゼミナール運営を合算した連結ベース

Q2. 研究開発費と広告宣伝費が成長戦略に及ぼす影響は？

A2. 広告宣伝費は森塾を中心とした塾事業で、研究開発費は新規事業の基礎学力事業への投資で、両輪の成長を図っています

販売管理費の構成



(注)2021年2Q(累計)及び2022年2Q(累計)の対販売管理費比率は連結ベースの構成比

Q2. 研究開発費と広告宣伝費が成長戦略に及ぼす影響は？

A2. 広告宣伝費はフロー型だけでなくストック型との併用で継続的に集客を行い、コロナ禍においても教室当たり生徒数の大幅減少を食い止めることに成功しています

フロー型

WEB広告によって短期間でアクセス数を増やせる

- リスティングやディスプレイ広告

[WEB広告]

広告・https://www.morjuku.com/
【公式】個別指導なら森塾・森塾は、個別指導で安心の授業料
1科目20点UPの成績保証が大評判。各校舎の生徒さんのリアルな成績を公開中。1ヶ月無料体験受付中。1科目から受講可能。満席に近い校舎多数。お急ぎください！ 価格の全国184校舎・対象：小学生～高校生・森塾：公式サイト・Web限定キャンペーンも。
📍付近に20か所

» お近くの校舎を探す



[バナー広告]

集客力
アップ

ストック型

コンテンツとして蓄積され持続的な集客効果が期待できる

- SEO/MEO施策
- メディアへの露出
- ブランドサイトのリニューアル

[ブランドサイトの刷新]



[Youtubeチャンネル]

Q3. 高校生の市場への具体的な足がかりは？

A3. 新たなチャネルから高校生の市場を開拓し、ノウハウを蓄積しながら
高校生市場の開拓を強化します

高校部の強化



- ・2022年3月より「高校部」を開講
- ・スプリックスグループの湘南ゼミナールの高校生指導ノウハウを活用

新たな施策

河合塾マナビス

- ・2020年12月よりスプリックスの事業部門の一つ
- ・高校生のための大学受験指導に特化した塾
- ・河合塾のトップ講師によるオンデマンド映像授業とアドバイザーによる対面学習相談

河合塾

- ・2022年4月にスプリックスと業務提携
- ・高校生対象の学習塾向け教材を共同開発し2023年より提供予定
- ・河合塾は日本有数の大学受験予備校

參考資料

(参考資料) データで見るスプリックス(ファクトシート)

(単位:百万円)	2018年9月期 12か月 (単体)	2019年9月期 12か月 (単体)	2020年9月期 12か月 (連結)	2021年9月期 12か月 (連結)	2022年9月期 2Q(6か月) (連結)
売上高	10,451	11,410	11,843	25,901	14,954
営業利益	2,467	2,741	1,787	2,437	1,482
EBITDA	2,569	2,851	1,937	3,385	2,042
総資産	9,967	10,861	11,485	19,277	19,374
純資産	6,469	7,642	8,091	8,864	9,399
現金及び現金同等物の期末残高	6,825	6,819	7,308	6,163	6,079
自己資本比率(%)	64.9	70.4	70.2	45.9	48.4
売上高営業利益率(%)	23.6	24.0	15.0	9.4	9.91
EBITDAマージン比率(%)	24.5	24.9	16.3	13.0	13.7

教育でNo.1へ

SPRIX